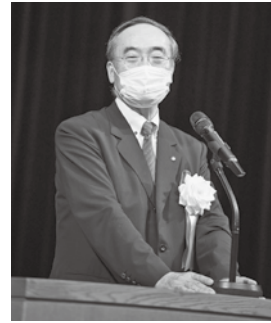




とくしま“あい”ランドNEWS

(公財)とくしま“あい”ランド推進協議会では、ぬくもりと活力ある長寿社会を目指して、生きがいづくり・健康づくり・社会活動に取り組む指導者育成などのためのさまざまな事業を実施し、高齢者の方々に応援しています。



挨拶をする大会長の飯泉嘉門徳島県知事

第52回徳島県敬老県民のつどい

◆規模を縮小して開催

昨年9月2日、あわぎんホール（徳島市藍場町）で「高齢者の笑顔の花咲く徳島」を目指して「第52回徳島県敬老県民のつどい」（徳島県、(公財)とくしま“あい”ランド推進協議会など主催）が開かれました。

新型コロナウイルスの感染拡大状況を考慮し、出席者は表彰を受ける各部門の受賞代表者と主催者代表者に限定するなど新型コロナウイルス感染症の適切な感染防止対策をとり、規模を縮小しての開催になりました。

式典では大会長の飯泉嘉門県知事、大会副会長の細井啓造県老人クラブ連合会会長のあいさつに続き、高齢者福祉向上に貢献してきた高齢者福祉功労者20人、在宅介護を行っている在宅介護

功労者11人、施設・団体関係功労者14人などの代表者がそれぞれ表彰されました。

また、日頃、高齢者宅を個別訪問し、地域の絆づくりに貢献している老人クラブの友愛訪問員6人が県知事表彰されたほか、47人の友愛訪問員の各代表者に県知事感謝状が手渡されました。

さらに、22団体、47人の皆さんが県老連会長表彰を、4団体に全国老人クラブ連合会活動賞が贈られました。なお、午後から予定され

ていた恒例の高齢者芸能大会は昨年に引き続き中止となりました。



大会長の飯泉知事から表彰を受ける代表者



表彰式を終え記念撮影に臨んだ皆さん



総合開会式 選手宣誓



カローリング (連盟)



かるた



美術展会場風景



ラダーゲッター

◆第27回徳島県健康福祉祭(2021とくしまねりんピック)
 今回で27回目となる徳島県健康福祉祭(2021とくしまねりんピック)は、徳島県・(公財)とくしま「あい」ランド推進協議会主催は、20種目のスポーツ競技と3種目の文化交流大会を昨年10月から11月までの21日間に順次開催しました。

スポーツ競技では、県内各地のシニアの皆さんが南部大会(開会式は昨年10月2日、阿南市羽ノ浦町・那賀川河川敷第3緑地公園(明見グラウンド)、西部大会(開会式は同月9日、美馬市美馬町・美馬市吉野川河畔ふれあい広場)、東部・決勝大会(開会式は同月16日、徳島市民吉野川運動広場)として県内各所で開催された競技種目で、個人やグループの技を競うなどして交流を図りました。

一方、3種目の文化交流大会は、囲碁(昨年10月16日、徳島県立総合福祉センター4階)、健康マージャン(同月23日、徳島県立総合福祉センター5階ホール)、かるた(昨年11月14日、とくぎんトモニプラザ6階)、で開催されました。さらに、美術展は12月11日と翌12日の2日間、あわぎんホール(徳島市藍場町)で開催。絵画、書道など5部門の出品作品80点が披露され、美術展最終日には知事表彰が行われました。知事表彰は次の皆さんです。

日本画・中筋奈津子／洋画・今川繁夫／彫刻・川西徳雄／陶芸・隅田良佑／手工芸・上田優／書・金子博明／写真・黒田昌邦



県ねりんピック美術展入賞者の皆さん

◆「小学生の作文・小学生の絵」の入賞者決まる

徳島県内の小学生を対象にした長寿社会啓発のための第27回徳島県健康福祉祭「小学生の作文・小学生の絵」最終審査会が昨年10月25日、徳島県立総合福祉センター（徳島市中昭和町）で行われ、作文、絵とも優秀賞各2点、佳作各8点が決まりました。

今回の応募作品は作文が44校427点、絵は39校163点。優秀賞は次の皆さんです。

【作文】

▽伊達鈴華（だて すずか 徳島市・千松小学校3年）「元氣とえ顔をとどけます」

▽吉田悠真（よしだ ゆうしん 鳴門市・撫養小学校6年）「おじいちゃん」で
あり先生」

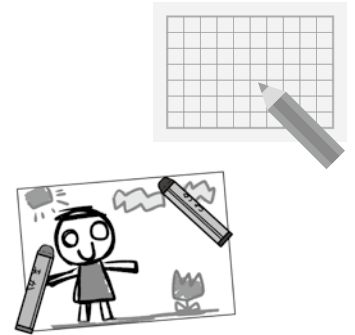
【絵】

▽和田実結（わだ みゆ 徳島市・新町小学校3年）「家族みんなで干し柿作り」

▽美馬彩羽（みまいろは 阿波市・土成小学校6年）「しあわせなおばあちゃん」



審査風景



徳島県シルバー大学校

◆シルバー大学校40周年を記念
第40期シルバー大学校合同講義開催



挨拶をする飯泉嘉門校長

徳島県シルバー大学校に学ぶ県内各地区9校の学生が一堂に会し、学習と親睦を図る徳島県シルバー大学校合同講義が昨年11月24日、あわぎんホール（徳島市藍

場町）で開催されました。今回の合同講義は徳島県

シルバー大学校開講40周年記念事業として開催したもので、徳島校・鳴門校・小松島校・阿南校・吉野川校・美馬校・牟岐校・上板校・東みよし校の学生に加えて放送講座受講者や大学校OB生など合わせて約400人が参加しました。

前半の記念式典では大学校校長の飯泉嘉門徳島県知事が大学の歴史を振り返り「これからも、時代とシニアの皆さんのニーズに合わせた新しい試みで徳島の元気を全国発信していきたい」などと挨拶しました。

次いで徳島県議会の岩丸正史議長、徳島県老人クラブの細井啓三会長が祝辞を延べました。

その後、長年シルバー大学校で学生の指導にあたった講



シルバー大学校40周年記念会場風景



県政報告を中心に基調講演をする飯泉知事



飯泉校長から感謝状を受け取る代表者の皆さん



記念講演をする舞の海秀平さん

師の皆さんや団体への感謝状の贈呈式が行われ、個人（30人）や団体（8団体・11人）の代表者6人に飯泉校長から感謝状が手渡されました。さらに、県シルバー大学校徳島校OB会の脇川弘名誉会長の挨拶、校歌黙唱と続き、ホールの換気をかねた休憩後、校長の飯泉知事による県政報告を中心とした基調講演がありました。

後半はNHK大相撲解説者・舞の海秀平さんによる「可能性への挑戦」と題した記念講演。自身の相撲人生で得た人生訓などをユーモアたっぷりに語り、チャレンジする大切さや、「コロナ禍でもユーモア精神を失わず、日々笑いを見つけ、ストレスをため込まずに生きましょう」などと結び、学生の皆さんから大きな拍手をあびていました。



長年シルバー大学校で学生の指導にあたった講師の皆さん（前列中央・飯泉校長）